

企業周辺の文化を訪ねる

—— しいなりい ——

大阪府

大正区



すぐそばに“大正アイランド” ここは橋と渡船で行く、大阪のリトル沖繩

大阪湾に面し、三方を川と運河で囲まれた大阪市大正区。木津川、尻無川は江戸時代、経済を支える大動脈として諸国の船で賑わい、明治時代以降も阪神工業地帯の中核地域として発展。製造品出荷額などは市内第4位を誇ります*。

また、人口の約4分の1の人々が沖繩に縁があり、沖繩の風を感じる町としても知られています。 *平成24年工業統計調査



取材・写真協力：大阪市大正区役所

① 大正内港

戦後の大阪港復興計画の一部として河川を拡張してつくられた内港。鉄鋼や雑貨などの国内貿易基地となっています。多くの船が行き交う水面に水鳥が浮かぶ姿は、区を代表する風景の一つです。



② 大正橋

大正4年にかけられた初代大正橋は当時、日本最大のアーチ橋。大正区の名の由来となりました。現在の橋は、合成桁技術の一つの到達点を示すと言われています。欄干には「第九」の楽譜が刻まれています。



③ 渡船

古来より水の都と呼ばれた大阪には、人々の往來のための渡船場が各所にありました。現在大阪市内8カ所の渡船のうち7カ所が大正区にあり、「動く橋」として無料で運行されています。



④ エイサー祭り

沖繩出身者が多い大正区では、お盆の頃、若者たちが太鼓を叩きながら歌い踊るエイサーが盛ん。中でも「エイサー祭り」は、区外からも多くの人が訪れる人気の恒例行事となっています。



⑤ おきなワフード

“大阪の人情”と“沖繩のおおらかさ”で、大正区を盛り上げようと始まった「おきなワフード」は、沖繩と大阪の食文化がコラボした新感覚グルメです。(写真は、おきなワうどん)